

精神看護 第17巻 総目次

2014年 1号(=1月号)、2号(=3月号)、3号(=5月号)、4号(=7月号)、5号(=9月号)、6号(=11月号)
表示は、「題名：著者，号数，開始ページ。」

特集

[1月号]「処方薬依存」と「脱法ドラッグ」が大変なことになっておる

処方薬依存——何がこんな残念な状況を生んでいるのか直視してみましょう：松本俊彦，1，12.

脱法ドラッグ——新たな薬物問題の爆発的拡大：青山(上原)久美，1，19.

私たちは薬物依存症患者をどのように捉えればよいのでしょうか：小林桜児，1，24.

違法薬物使用を知った医療者に、通報義務はあるのか：松本俊彦，1，29.

[3月号]近森病院総合心療センターがチーム医療で取り組んだ 下剤に頼らない排便ケア

まずは押さえない基本知識：西村かおる，2，12.

看護スタッフとしてどのように取り組んだか——下剤に頼ることをやめ、手と目と耳を使うケアへ：安田親司，2，24.

[症例報告]困難事例でも下剤から脱却できた：堀内航介，2，27.

より正確な排便日誌を目指して——便の性状は Bristol で、量はボール大で記載：筒井恵美，2，30.

コンチネンスケア導入に対する評価——院内からの声：2，34.

患者さんの排便状態、スタッフの負担や意識はコンチネンスケアの導入でどう変わったか：林加奈子，2，35.

[レッツ！チーム医療]管理栄養士として取り組んだこと：西森瑞愛，2，38.

[レッツ！チーム医療]薬剤師として取り組んだこと：西田佳織，2，40.

看護部長から見るとこうでした！——コンチネンスケアスタッフが楽しく作業し、成果を上げられた理由：松永智香，2，42.

[5月号-1]新しい認知症ケアメソッド「ユマニチュード」

ユマニチュードの哲学とケアメソッド——基本的な技術でありながら、何が“新しい”のか：本誌編集室，3，8.

私たちが体験したユマニチュード——市民公開講座@上智大学：伊東美緒・盛真知子・森谷香子・金沢小百合・丸藤由紀・本田美和子・イヴ・ジネスト・黒川由紀子，3，16.

認知症高齢者の行動のなかに、目的のないものは1つもありません：林紗美，3，27.

[5月号-2]うまく機能している「認知症クリニカルパス」と「隔離・拘束クリニカルパス」を紹介します

多職種のかきかわかる「認知症クリニカルパス」@浅香山病院：桑木智美・和泉谷五月・大谷智子，3，32.

行動制限最小化に効果があった「隔離・拘束クリニカルパス」@五稜会病院：吉野賀寿美・鈴木大輔・鈴木美伸・鈴木由美子，3，40.

[7月号]フィンランドで効果を上げる驚きの救急対応「オープンダイアログ」

オープンダイアログ(開かれた対話)が統合失調症の治療風景を変えうる可能性について：斎藤環，4，7.

オープンダイアログとべてる——Open Dialogue UKセミナー参加報告：石原孝二，4，19.

質疑応答：向谷地生良・斎藤環・石原孝二，4，24.

[9月号]地域につなげる「退院サマリー」を提案します

病院×地域 座談会——どんな退院サマリーが望ましく、どのような活用が可能なのか：熊崎恭子・西池絵衣子・

高田久美・梅本育子・加藤由香・藤田みゆき，5，11.

[コラム]看護記録の法的な規定とは：西池絵衣子，5，29.

ケアの継続性と看護師への期待：高田久美，5，30.

[コラム]精神科看護を記録する難しさ：西池絵衣子，5，34.

おわりに：熊崎恭子，5，35.

[11月号-1]緊急企画「これがユマニチュードだ！」開発者イヴ・ジネスト氏の講演録：6，4.

[11月号-2]目ウロコ座談会 教えて！達人たち ストレングスモデルが医療に入ると、どんないいことがあるの？：萱間真美・仲野栄・原子英樹・中嶋康子，6，26.

特別記事

児童・思春期精神科看護を、事例を通して疑似体験する：船越明子，2，60.

松沢病院「身体合併症病棟」で身体拘束最小化に取り組む——現場の声を届けたい：中田信枝・中屋利子・谷口奈緒美・戸谷亜須佳・阪本知広・齋藤正彦・黒田美喜子，3，44.

断酒の継続を助ける新薬「レグテクト®」の働きとは？：姫井昭男，4，50.

実録！ ホームレスを生きるノウハウ：向谷地宣明・くぼち・すーさん，4，74.

バングラデシュ「突撃在宅訪問記」：向谷地生良，5，70.

「精神科医が記載する書類」で知っておきたいこと——医療保護入院、自立支援医療、精神障害者保健福祉手帳：山崎正雄，6，54.

REPORT

行って見て聞いた小倉第一病院。「マグネットホスピタル」と呼ばれる病院のヒミツに迫る：知識裕子・本誌編集部，1，96.

発達障害なのに、統合失調症と誤診されているケースがある：根来秀樹，2，46.

精神科認定看護師制度が変わります：遠藤淑美，4，65.

2014年診療報酬改定——「向精神薬の多剤併用に対する減算」に除外規定が設けられた理由について：細田真司，5，40.

ハーモニーが「新・幻聴妄想かるた」を完成。「2匹目のどじょう」か？「世紀の大傑作」か？：新澤克憲，4，34.

僕がハーモニーになじんじやったのはなぜなんだろう：齋藤陽道，4，46.

連載

●DNAは、いつ統合失調症の秘密を語るのか／糸川昌成(6)希望を託して：1，106.

●少女漫画家のべてる訪問記「ただいまべてるの家」／一ノ瀬かおる(4)最終回：1，110.

●ストレングスモデルを習うなら今でしょ！／萱間真美(3)自動翻訳装置をオフにしよう：1，72.

(4)オーストラリアで見た、使える資源の一部としての医療：2，68.

(5)ストレングスモデルと問題解決モデルを統合するため

の記録用紙の提案：4, 68.

●**幻聴妄想かるたのつくり方**：ハーモニー

(3)のんごさんの長い夏：1, 90.

(4)ぐるぐる回るちっちゃいおじさんたち：2, 92.

●**べてる新聞「ばびぶべ」**

(95)：1, 104.

(96)：2, 102.

(97)：3, 110.

(98)：4, 110.

(99)：5, 94.

(100)：6, 108.

●**精神科の患者さんの身体では、何が起きている？**／秀野武彦

(1)統合失調症患者の短命から手がかりを探る：1, 6.

(2)統合失調症は身体機能低下が早い？：2, 49.

(3)統合失調症患者の動脈硬化：3, 81.

(4)Obesity paradoxと医原病：4, 56.

(5)急変への布石——窒息事故、心臓突然死、肺動脈血栓塞栓症：5, 42.

●**2ページあげます**

(1)おいでませ 日精看山口県支部：日本精神科看護技術協会山口県支部，1, 60.

(2)日精看神奈川支部：日本精神科看護技術協会神奈川支部，2, 76.

(3)走る看護師 ラン・ナース——ランするナースのたすきに懸ける活動記：3, 76.

●**中動態の世界／國分功一郎**

(1)「する」でも「される」でもない世界：1, 81.

(2)消えた中動態の謎：2, 82.

(3)「する/される」から「内/外」へ：3, 97.

(4)「思考の可能性の条件」としての言語：4, 93.

(5)「仕方なく同意する」が説明しにくい理由：5, 74.

(6)我々は中動態を失うことによって何を得たのか？：6, 90.

●**まさびよんの「こんなレクリエーション療法はどう？」**／高橋政代

(1)まさびよんの「こんなレクリエーション療法はどう？」：1, 66.

(2)踊り(フォークダンス、レクダンス、民謡)：2, 98.

(3)精神科のレク支援で、していいこと、いけないこと：3, 106.

(4)軽度認知症の方へお勧めのレクリエーション：4, 90.

(5)回復期に適したレクリエーション：5, 52.

(6)レクを担当する人の負担感を減らし、楽しさに変えるには：6, 73.

●**米国の隔離・身体拘束最小化方策＝「コア戦略」とは**(1)トラウマインフォームドケア(トラウマを念頭に置いて臨むケア)：石井美緒，1, 92.

(2)セイフティプラン：佐藤真希子，2, 65.

(3)コンシューマー：三宅美智，3, 70.

●**夜勤飯**

(2)：神保忍さん，1, 94.

(3)：中村秀敏さん，2, 78.

(4)岡田隆さん：6, 102.

●**師長がゆく。**／東志乃

(1)私が師長に？：2, 90.

(2)異様な風習：3, 66.

(3)自分が目指す病棟に：4, 80.

●**音楽活動に特化した地域活動支援センターを作るぜBaby!**

(1)音楽の力を生かしたい：田中諭・林谷啓美・石川洋一郎，2, 94.

(2)音楽を就労につなげる夢：田中諭・林谷啓美・石川洋一郎・石川紀世，3, 72.

(3)地域活動支援センターを開設した道のり：田中諭・林

谷啓美・石川洋一郎・石川紀世，4, 102.

●**こうすれば退院できるし、暮らせるし。**

(1)患者さんの目標を看護目標にするために「hopeノート」を作成：藤森祥子，3, 62.

(2)「入院のままのほうが幸せでは？」にどう反論するか：田中英治朗，4, 61.

(3)地に足が着いていなくても大丈夫。それも「その人の暮らし」です。：加藤由香，5, 36.

●**大学院での研究の裏にあった葛藤を語る**

(1)研究テーマのなかの私自身の課題とは？：武井麻子・児玉まゆみ，3, 86.

(2)研究テーマは私自身と結びついていた：会田玲子，4, 82.

●**失恋の話を聞きまくる男たち。桃山商事／清田隆之**

(1)恋愛話を聞く時のルール：3, 94.

(2)桃山商事が女性の話を聞いても恋愛化しないのはなぜか：5, 84.

(3)失恋ホストの現場紹介 恋と愛の違いについて：6, 85.

●**「自殺者の少ない地域」のコミュニケーション力を考察する**／森川すいめい

(1)「閉鎖的」と「開放的」を分けるもの：5, 48.

(2)「声かけ」ができる背景：6, 98.

●**カー吉。**

(1)：横田成史さん，1, 62.

(2)：桑野祐次さん，2, 72.

(3)：宮子あずさん，3, 78.

(4)(船吉。)：宮本満寛さん，5, 56.

その他

[精神科実習をめぐって]臨床指導者の立場から：藤本法子・月江ゆかり，1, 42.

[対談]松本ハウス(お笑いコンビ) VS.向谷地生良さん(べてるの家)：ハウス加賀谷・松本キック・向谷地生良，1, 49.

[第17回 精神科認定看護師認定試験問題] (2) [選択問題]の問題と解答：認定試験研究会，1, 76.

[取材レポート]売れる、高品質な商品作りこそが、作り手を輝かせる。——サリュ@京都：本誌編集部，2, 1.

[臨床からのOPINION]「現代型うつ病」をどう捉え、どう看護すればよいのか：小瀬古伸幸，2, 54.

[こんな取り組みをしています]クレプトマニア(窃盗癖)の患者を受け入れています——赤城高原ホスピタル：佐々木孝浩，2, 57.

[映画紹介コーナー]トークバック 沈黙を破る女たち：2, 81.

[投稿]身体合併症で入院し、身体拘束を経験した精神疾患患者の心理——患者へのインタビューを通して：堀井紀明・近藤弘子・中島勇子・長尾智恵子，3, 57.

[INTERVIEW]DSM-5監訳者、大野裕氏に聞く。——「我々はDSM-5とどのようにつきあっていけばよいのか」：大野裕，5, 4.

[2014年日精看大会@広島 示説発表で最優秀賞に選ばれた研究を紹介します]精神科訪問看護におけるリカバリプロセスに合わせた支援：鈴木敦子，5, 72.

[研究]統合失調症患者に好意を向けられた女性看護師の感情体験：清水隆裕・入江拓，6, 76.

書評

『正常を救え——精神医学を混乱させるDSM-5への警告』：今村弥生，3, 68.

『ナイチンゲール伝 図説 看護覚え書とともに』：新納美美，4, 107.

『ユマニチュード入門』：信田さよ子，5, 90.

『腰痛のない身体介助術』：綾屋紗月，6, 106.